

# 閉会式



「有徳の人」づくり

～未来のために行動する「一人」を育てよう～

# 閉会式

## 1 開式のことば

**司会** それでは、引き続き、第 67 回全国高等学校 PTA 連合会大会静岡大会閉会式に移らせていただきます。

まず初めに、静岡大会副実行委員長の山崎好和から、閉会式を行うに当たっての開式のことばを申し上げます。

**山崎好和** 皆さん、改めましてこんにちは。

静岡大会においでくださいまして誠にありがとうございました。

充実した研修、交流はできましたでしょうか。ありがとうございます。

それでは、ただ今より第 67 回全国高等学校 PTA 連合会大会静岡大会の閉会式を開式いたします。

## 2 大会会長 閉会の挨拶

**司会** 続きまして、一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会会長 牧田和樹から閉会の御挨拶を申し上げます。

**牧田和樹** 皆さん、おはようございます。

皆さんにとってこの第 67 回静岡大会、どのような大会でしたでしょうか。

大変僭越ですけれども、また、身びいきかもしれませんが、皆さま方にとって大変有意義な時間をお過ごしいただいたのではないかと信じております。

これまで本当に多大な御準備、御尽力をいただきました静岡県公立高等学校 PTA 連合会の皆さま方に心から感謝の言葉を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

全国高等学校 PTA 連合会は、連絡調整並びに交流の場をこれからも皆さん方に提供していきたいと思っております。そして、皆さん方の日々の活動が円滑に進むよう、全力でサポートさせていただきます。皆さま方のお力添えを賜りまして、この全国高等学校 PTA 連合会の活動に御理解を賜ればと思っております。

有徳の人というテーマで進めてまいりましたが、徳のバイブルであります論語の冒頭の一説に「有朋自遠方來、不亦樂乎（朋有り遠方より來たる、亦た樂しからずや）」という言葉がございます。ぜひ皆さんと来年、佐賀の地でお会いしたいと思います。

本当にありがとうございました。

## 3 大会宣言採択

**司会** 続きまして、第 67 回全国高等学校 PTA 連合会大会静岡大会における大会宣言の提案及び採択を行います。

大会宣言の提案は、静岡大会副実行委員長 高塚勝久から申し上げます。大会宣言（案）は、皆さまの大会要項 167 ページを御覧ください。

### 大会宣言【後述・P93 掲載】

**司会** ただ今の大会宣言文、御承認の拍手をお願いいたします。

盛大な拍手をありがとうございます。大会宣言は採択されました。大会要項の 167 ページに記載されております大会宣言（案）より、（案）をお取りください。

## 4 全国高P連旗返還

**司会** さて、いよいよ連合会旗の返還並びに次期開催地への授与となります。

牧田和樹会長並びに杉浦政紀実行委員長、そして次期開催地であります佐賀県高P連会長 西岡 豊様、ステージ中央にお進みください。

初めに、全国高等学校 PTA 連合会旗が静岡大会 杉浦政紀実行委員長から一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会 牧田会長に返還されます。

### <全国高等学校 PTA 連合会旗返還>

**司会** 連合会旗が、杉浦実行委員長から牧田会長へ返還されました。

## 5 全国高P連旗授与

**司会** 続きまして、全国高P連 牧田会長から次期開催地であります佐賀大会の佐賀県高P連会長 西岡 豊様に連合会旗が授与されます。

### <全国高等学校 PTA 連合会旗授与>

**司会** 連合会旗が、牧田会長から西岡 豊佐賀県高等学校 PTA 連合会会長へ授与されました。佐賀大会の御盛会、そして御成功を心よりお祈り申し上げます。

それでは、牧田会長、杉浦実行委員長、西岡会長、お席へお着きください。

## 6 次期開催地挨拶

**司会** ここで、次期開催地であります第 68 回佐賀大会実行委員長 西岡 豊様から御挨拶を頂戴いたします。

御挨拶に先立ちまして、佐賀大会 PR 映像を御覧ください。

### <映像放送>

**西岡 豊** 皆さん、こんにちは。

ただいま御紹介いただきました、次年度開催県で実行委員長を務めさせていただきます西岡です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、静岡県の皆さま、このように盛大で実り多い大会を開催していただきましてありがとうございました。本当に感動でいっぱいの中で、「有徳の人」づくりの思いを学ばせていただきました。ありがとうございました。静岡大会の成功を心より喜び申し上げます。

さて、来年 2018 年、平成 30 年 8 月 20 日・21 日の 2 日間にわたり、第 68 回全国高等学校 PTA 連合会大会佐賀大会を開催させていただきます。

メインテーマを「広めよう 高めよう 慈しむ心」

として、佐賀、唐津、鳥栖、嬉野の 5 会場で開催いたします。来年佐賀の地にお越しになるのを楽しみに準備いたしますので、よろしく願います。

皆さまを心よりお待ちしております。

**司会** 西岡様、そして佐賀の皆さま、本当にありがとうございました。お席にお着きください。

来年がとっても楽しみです。ぜひ佐賀大会、大勢の皆さま方の御参加をよろしくお願いいたします。

## 7 実行委員長閉会の挨拶

**司会** ここで、静岡大会実行委員長 杉浦政紀から閉会の御挨拶を申し上げます。

**杉浦政紀** 2 日間にわたる静岡大会、いよいよ幕を下ろすときが来ました。

いかがだったでしょうか。ありがとうございました。御来場いただいた皆さま方には心より感謝を申し上げます。そして、最後までこんなに大勢残っていただきました。ありがとうございました。

そして、感謝は皆さんだけではございません。ステージをつくっていただいた、研修に参加していただいた多くの学校の方々、そして講演の先生方、そして、私事ではございますけれども、地元静岡のスタッフの皆さん、みんなのおかげでこの大会ができたと思っております。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

3 年前に静岡大会実行委員長としてこの場に立ちまして、3 年間の間に「大変だね」って何回言われたでしょうか。今日も言われました。「大変」は大きく変わると書きます。自分が大きく変わらせていただきました。大会に感謝したいと思います。そして牧田会長からも、西岡次年度実行委員長からも、非常に過大な褒めの言葉もいただきました。

ただ、私としましては、この静岡大会が本当にいい大会であったか、有意義であったかの答えは今ではないと思っております。この成果を全国の皆さん一人

# 大会宣言

一人が各地区に、各都道府県に、そして各学校にお持ち帰りいただき、その成果を全国の皆さんに伝えていただき、その結果が子どもたちのためになったときに初めて、静岡大会よかったなと評価をしていただきたいと思っております。これを皆さまに委ねたいと思います。よろしく願いいたします。

そして最後に、来年佐賀大会でございます。佐賀の皆さん、まだ今余裕を持った顔していらっしゃいますけれども、是非というよりも、間違いなくこの静岡大会以上の大会にしていだけるものと確信をしております。と、ここでプレッシャーをかけて、静岡大会の幕を下ろしたいと思えます。

どうもありがとうございました。

**司会** 今固い握手が交わされていますね。

本当にこちらもジーンと胸が熱くなりました。

## 8 閉式のことば

**司会** 結びに、静岡大会副実行委員長 小山全司から閉式のことばを申し上げます。

**小山全司** 全国各地からお集りいただき、誠にありがとうございました。

皆さまの御協力により素晴らしい大会になりました。大会成果をお持ち帰りいただき、ぜひPTA活動にお役立てください。

次年度は佐賀大会でお会いしましょう。

以上をもちまして、第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会の閉会式を閉じたいと思います。ありがとうございました。

**司会** 2日間にわたる静岡大会への御参加、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会の全日程が終了いたしました。お帰りの際には、お忘れ物などございませんようにお気をつけてお帰りくださいませ。

会場出口付近にて、静岡県立横須賀高等学校郷土芸能部の皆さんによりますお見送りのパフォーマンスを行っております。お帰りの際にどうぞ御覧ください。

それでは、来年は佐賀大会です。またお会いしましょう。本当にありがとうございました。

「有徳の人」づくり～未来のために行動する「一人」を育てよう～をテーマに、富国有徳の理想郷ふじのくにづくりを目指す静岡の地に、全国各地から多くの会員が集い、第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会が盛大に開催され、大きな成果を収めることができました。

いま日本では、少子高齢化の進行と持続可能社会への志向、経済のグローバル化や情報技術高度化の急進など、大きな変革時代を迎えるとともに、様々な課題を抱えています。

このような状況のなかで、日本を未来永劫発展させていくためには、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参加し、社会総がかりで取り組む、行動する徳を備えた人、つまり有徳の人が欠かせません。

本大会では「有徳の人」づくりをテーマに参加者同士が真摯に向き合い、時代が求める人材像について考え、お互いに学び合い、語り合うことができました。

ここに大会成果を踏まえ、未来を支える子どもたちが有徳の人として成長していくことを支援するとともに、PTA活動の一層の充実発展を誓い、私たちは次のとおり宣言します。

- 一 確かな学力の向上と、将来の社会を担う子どもたち一人一人の資質・能力の伸長を図るとともに、徳のある人間性と健やかでたくましい心身を育むため、PTA活動を通して学校と連携・協働し、子どもたちによりよい学びの場を提供できるよう一層の支援に努める。
- 一 子どもたちが教科学習や部活動など高校生活を通じて希望進路の実現を目指し、自己実現を図るため、PTA活動を通して学校と連携・協働し、子どもたちの進路実現に向け一層の支援に努める。
- 一 安全安心な社会構築に向け社会総がかりで防災、防犯、交通安全の取組や知識の習得を進めるため、PTA活動を通して学校や地域社会と連携・協働し、子どもたちが安心して取組・活動できる教育環境づくりを目指し、一層の支援に努める。
- 一 私たち保護者には、子育ての責任と義務があり、自らの役割について認識を深めるとともに学習会や地域活動に積極的に参加して自ら学ぶ機会を増やす。また、PTA活動を通して学校や地域社会と連携・協働し、自己啓発、自己研鑽、自己成長を図るよう努める。
- 一 未曾有の災害教訓を踏まえた実践的な防災・減災教育を推進するため、学校及び地域社会、広域行政区域の危機管理体制の充実を図り、保護者はもちろんのこと、子どもたちが災害時にも自らの判断で主体的に行動できる人材の育成を目指し、一層の支援に努める。
- 一 外国人を含めた多文化共生の地域づくりを推進し、コミュニケーション能力や良好な人間関係をつくる能力、グローバル感覚を備えた人材の育成が求められている今、グローバル化に対応した教育実践、教育環境の整備、世界に羽ばたくグローバル人材の育成を目指し、一層の支援に努める。

第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会において宣言する。

平成29年8月25日

一般社団法人 全国高等学校PTA連合会



# 自転車・バイク・歩行者のマナーアップ運動

# 編集後記

現在、交通事故によって多くの子どもたちの「大切な命」が失われています。

そのため本会では、子どもたちが交通事故の「被害者にならない、加害者にさせない」ことを目的に、地域社会と共に具体的な交通安全指導を推進する必要があると考え、「自転車・バイク・歩行者のマナーアップ運動」を各機関・団体等と連携・協力して、交通安全教育の充実のために効果的な活動を推進しています。

さらに本会では高校生がもしも交通事故等の加害者になったときの経済的負担を補償するため「全国高P連賠償責任補償制度」を運営しています。

## 今後の「バイクの3ない運動」の展開について

全国高等学校PTA連合会では、昭和57年より「バイクの3ない運動（免許は取らない・乗らない・買わない）」を通して、35年にわたり子供たちの「大切な命」を守り続け大きな成果をあげてきましたが、今後については地域の実情や昨今の社会情勢等の変化に鑑み、各都道府県市高等学校PTA連合会がそれぞれの立場で、「バイクの3ない運動」を独自に展開することとします。

平成 29 年 8 月 25 日

一般社団法人 全国高等学校PTA連合会

ここに、第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会を記録した「第59号会報（第67回全国大会静岡大会報告書）」をお届けいたします。

静岡大会は「『有徳の人』づくり～未来のために行動する『一人』を育てよう～」をテーマに、静岡県小笠山総合運動公園エコパアリーナをメイン会場として県下4施設7会場で開催いたしました。杉浦実行委員長の下、「オール静岡でおもてなし」を合い言葉に鋭意、計画・準備を進めて参りました。全国各地より9,388人のPTA会員並びに関係者各位にご参加をいただき、おかげさまで盛会のうちに終了することができました。改めまして、深く感謝申し上げます。

全体会会場は8月22日より、分科会会場は8月23日より会場設営に入り、各運営会議・リハーサル等を経て本番を迎えることができました。大会前日のレセプションでは、清水名物「次郎長道中」を披露し、拍手喝采を得ることができました。

大会第1日は、県立横須賀高等学校郷土芸能部のアトラクションに始まり、続いて開会式・表彰式を行いました。引き続き、小和田哲男静岡大学名誉教授による基調講演「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」を行い、大河ドラマ「直虎」のエピソードを交え戦国時代の子育てと人づくりに係るご教示をいただきました。昼食時には、県立磐田北高等学校箏部及び県立掛川東高等学校吹奏楽部のアトラクションがありました。午後は、エコパアリーナ・サブアリーナ、アクトシティ浜松大・中ホール、清水文化会館マリナート大ホール、静岡市民文化会館大・中ホールに分かれ、「有徳の人」づくりをテーマに7つの分科会を行いました。

大会第2日は、県立清水南高等学校・同中等部管弦楽部、県立浜松西高等学校・同中等部弦楽部合同及び天竜高等学校春野校舎郷土芸能部のアトラクションに始まり、続いて俳優 寛利夫氏による記念講演「寛利夫 これがおれの生きざまだ!」を行い、地元出身者ならではの楽しいトークショーとなりました。引き続き、分科会報告・閉会式を行い、閉会式では次期開催地 佐賀大会実行委員会への大会旗引継ぎ、大会アピールがありました。閉会式終了後、会場屋外広場にて県立横須賀高等学校郷土芸能部のパフォーマンスで皆様をお見送りいたしました。

以上、全日程を計画どおり実施することができました。

3年前、静岡県開催が決定して以来、準備会・準備委員会・実行委員会を立ち上げ検討を重ねて参りましたが、会場収容人数の関係で分科会会場が分散し、参加の皆様には何かとご不便をおかけしたかと存じます。

静岡大会への一般社団法人全国高等学校PTA連合会を始め、多くのPTA関係の皆様のご理解とご協力に対し心より感謝申し上げます。また、大会を盛り上げていただいたアトラクション出演校の皆さんにもお礼申し上げます。

本報作成にご尽力をいただいた御殿場南高等学校を始めとする沼津・駿東地区PTAの皆様、また「大会要項」作成にご尽力をいただいた富士宮西高等学校を始めとする富士・富士宮地区PTAの皆様、改めてお礼申し上げます。

静岡大会が、ご参加をいただいたPTA関係の皆様「有徳の人」づくりにお役に立てば実行委員会一同幸甚の至りでございます。

結びに、全国高等学校PTA連合会のますますのご発展及びPTA関係者各位のご健勝とご活躍並びに第68回佐賀大会の成功をご祈念申し上げます。

平成 29 年 12 月 吉日

副実行委員長 資料・広報部長 木村 光正